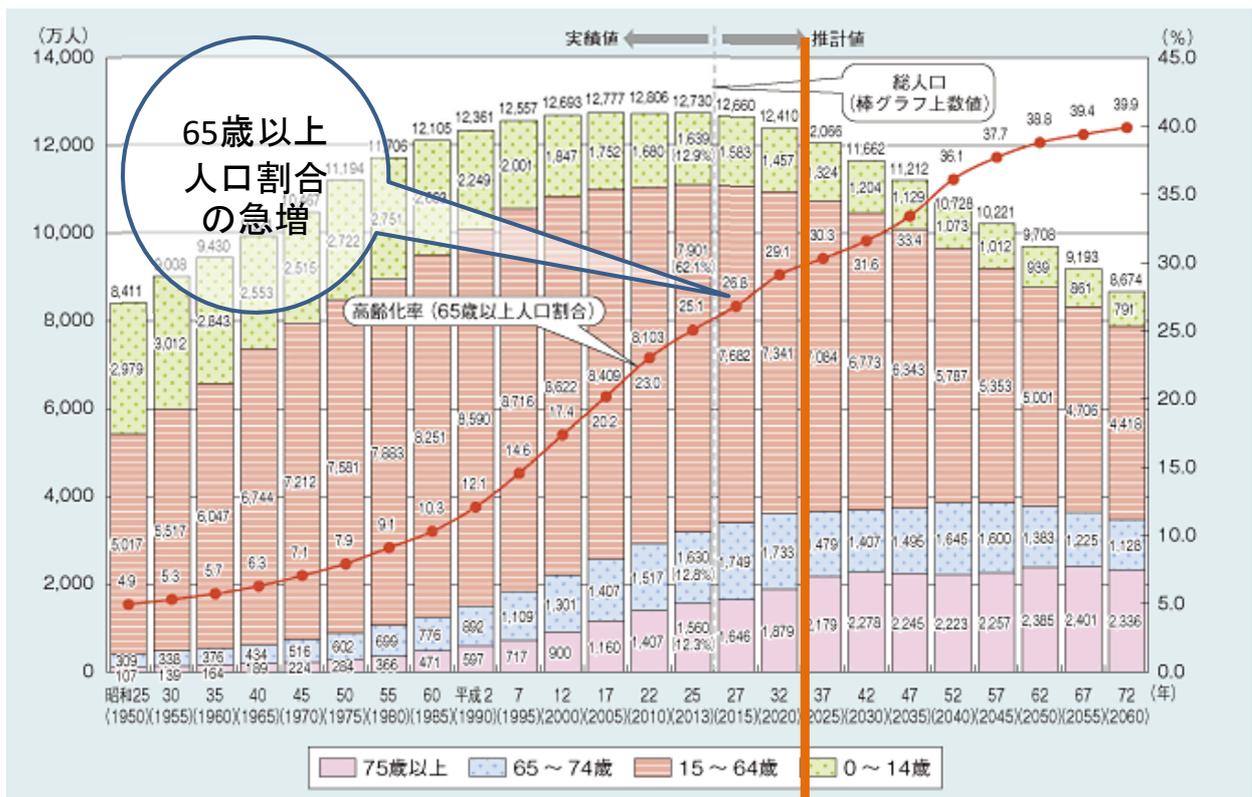


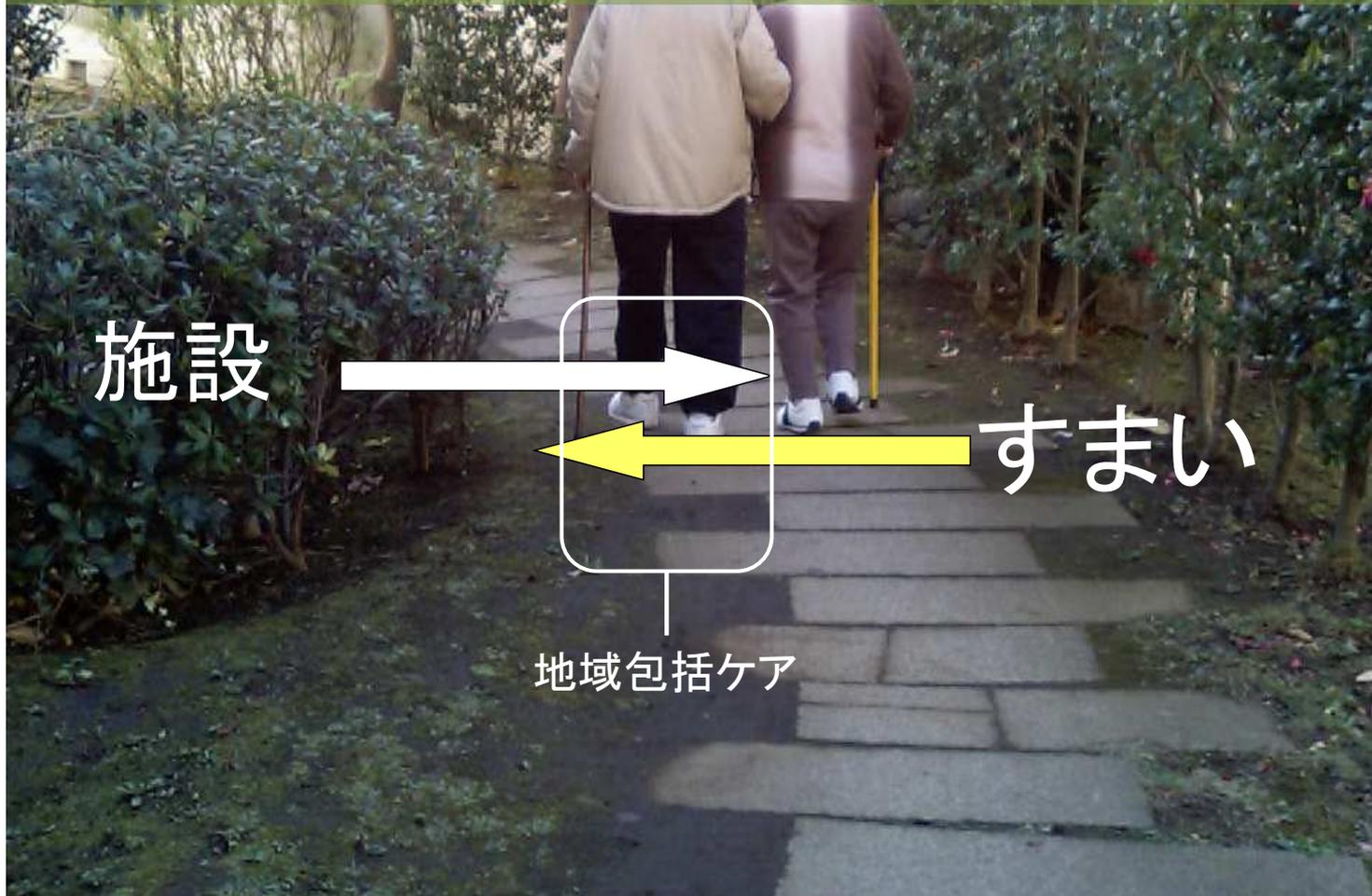
地域共生社会における居住支援

三浦 研(京都大学)

人口の将来推計



施設とすまいの歩み寄り



施設

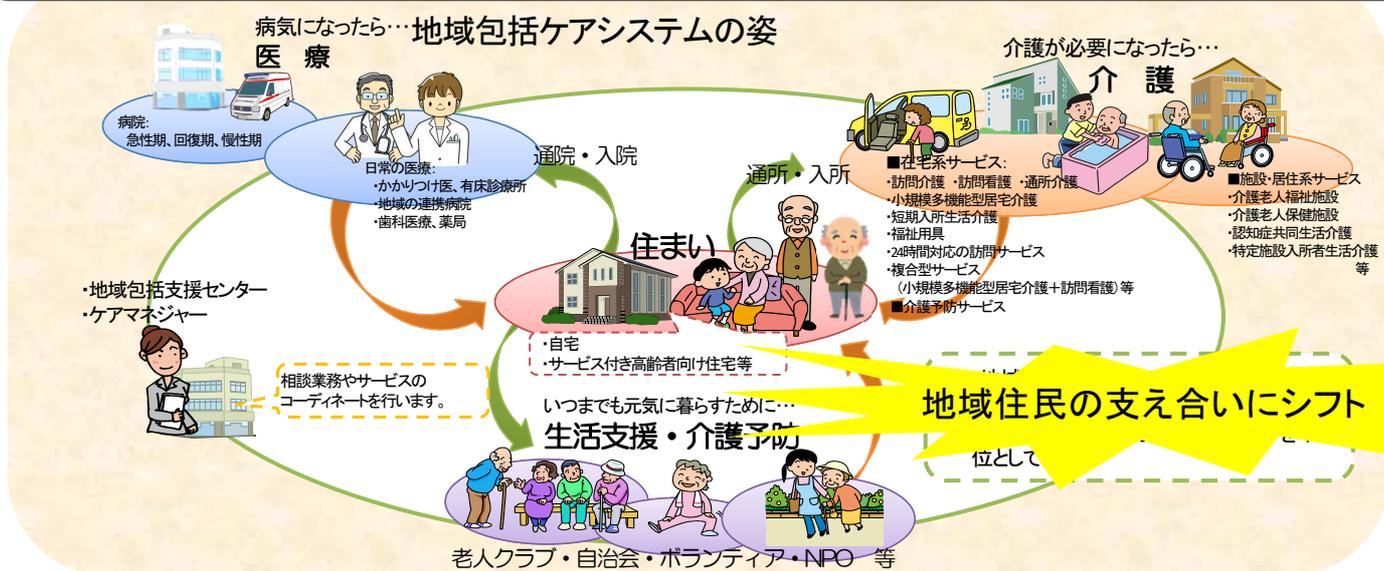
すまい

地域包括ケア

地域包括ケアシステムの構築について

厚生労働省資料

- 団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、**医療・介護・予防・住まい・生活支援が包括的に確保される体制(地域包括ケアシステム)の構築を実現。**
- 今後、認知症高齢者の増加が見込まれることから、認知症高齢者の地域での生活を支えるためにも、地域包括ケアシステムの構築が重要。
- 人口が横ばいで75歳以上人口が急増する大都市部、75歳以上人口の増加は緩やかだが人口は減少する町村部等、**高齢化の進展状況には大きな地域差。**
- 地域包括ケアシステムは、**保険者である市町村や都道府県が、地域の自主性や主体性に基づき、地域の特性に応じて作り上げていくことが必要。**



地域包括ケアの時代いどのように
居住支援を進めるのか

地域共生社会にむけて

- 居住支援に関する誤解
- 多様な居住支援の取組み
- 英国の居住支援
→誰がどう担っているのか
→わが国との違い・共通性
- 英国の取組みを踏まえた
今後の課題・展望



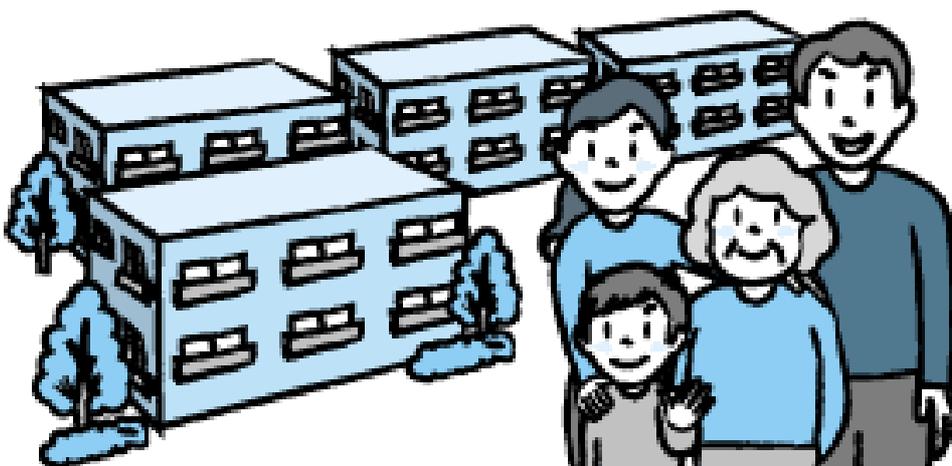
住宅政策をめぐる誤解①(特に財務部門)



うちの市は公営住宅に空きがあるからセーフティネット住宅は必要ない。居住支援も必要ない。

誤解

住宅政策をめぐる誤解②(特に住宅部門)



うちの市の公営に福祉的相談はありません
(公営住宅が活用しにくいから、相談がないだけ)

誤解

住宅政策をめぐる誤解③(特に住宅部門)



居住支援は福祉ですよ。
福祉に制度があるんだから、住宅部門は関係ない

誤解

住宅政策をめぐる誤解④(住宅・福祉部門)



居住支援は理解ある大家さんを増やすしかない。
基本的に賃貸契約時(入口)の話なんですよ。
そこから先は福祉の制度につなげばいい。

誤解

住宅政策の過去と現在

かつての住宅政策: 住宅不足が深刻



住宅(器)を作れば解決

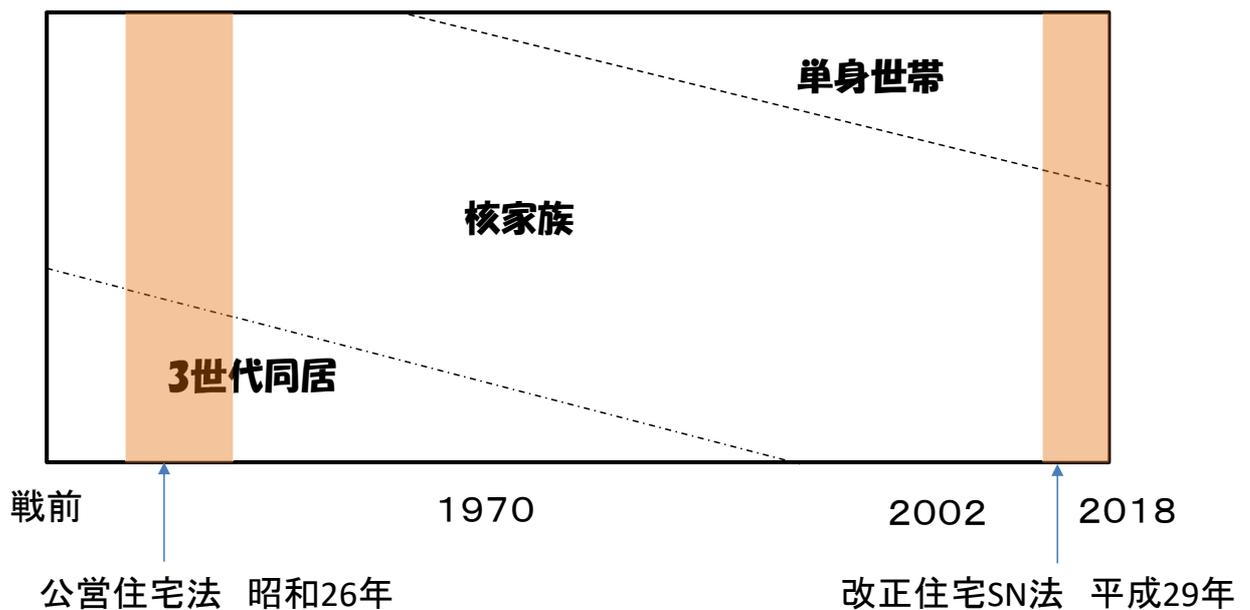
地域のつながりの希薄化
親族との関係が切れる

現在

家が余るなかで住宅を確保できない人
複合的な問題を抱える.



80年間の世帯構成の変化



支え合い・つながりの弱体化



低所得, 生活困窮, 離婚, アルコール依存,
認知症, ひとり親家庭, 引きこもり



確かに支援の仕組みはある



●児童養護施設退所者

18歳以上:

・児童養護施設退所者等
自立生活支援

・社会的養護自立支援事業

●障がい者

＜相談支援事業所＞

障害のある方やその家族から相談を受け、様々な情報の提供や助言、及び福祉サービスを受けるための手続き等をサポートする。



●高齢者

＜地域包括支援センター＞

高齢者からのあらゆる相談に応じるため、保健師や看護師、社会福祉士、主任ケアマネジャーなど多くの専門家が配置



●法触者支援

＜地域生活支援センター＞

出所した高齢者や障害者に、住居の斡旋など、社会復帰を手助け



●金銭管理・手続き支援

＜社会福祉協議会＞

日常生活自律支援事業:福祉サービス利用手続きや日常的な金銭管理の支援

●ひとり親支援

母子家庭等就業・自立支援業



●DV被害者支援

母子生活支援施設



確かに支援の制度はある

●生活困窮者 生活困窮者自立支援(厚労省)

・自立相談支援事業

支援員が相談を受けて、自立に向けた支援を行う

・住居確保給付金の支給

家賃相当額を支給

・就労準備支援事業

就労に向けた支援や就労機会の提供

・家計改善支援事業

家計の立て直しをアドバイス、必要に応じて貸付のあっせん等

・就労訓練事業

一般就労に向けた支援を中・長期的に実施

・生活困窮世帯の子どもの学習・生活支援事業

学習支援をはじめ、居場所づくり、進学に関する支援

・一時生活支援事業

住居のない方に衣食住を提供します。



制度があるのに、なぜ、居住支援なのか

制度がある＝制度を使える？

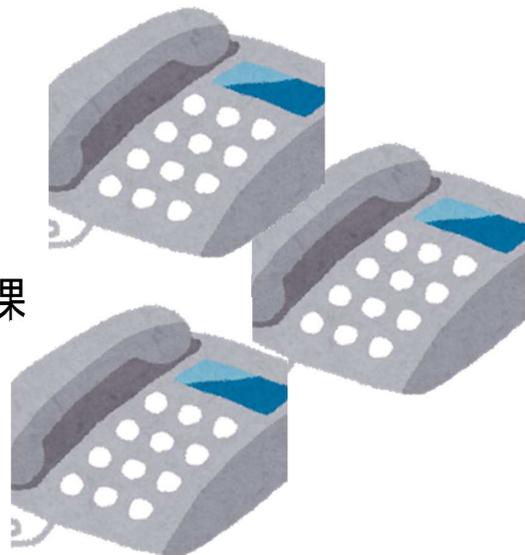
●私の話:ある先生を研究員で受け入れよとしたら、、



人事⇒ 人事掛

研究費⇒ 研究支援課

備品⇒ 管理課



⇒ ワンストップ対応の重要性

リロケーション・ダメージ

1960年代から70年代、施設入所した高齢者が有意に健康を害することが欧米で報告され、盛んに研究された。ダメージを受ける結果が多く報告されたが、環境が良くなる場合には良い効果が表れた研究も報告された。



環境移行 Environmental Transition

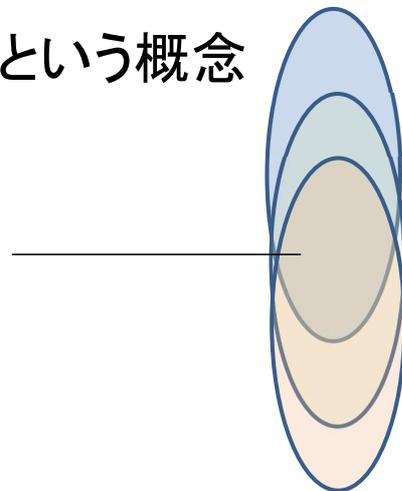
S.Wapner 発達心理学者



人生の危機に「環境移行」という概念

＜環境＞

- ・人的環境
- ・物的環境(構築環境)
- ・社会的環境



支援の効果を上げるには



- 児童養護施設退所者
18歳以上：
 - ・児童養護施設退所者等
自立生活支援
 - ・社会的養護自立支援事業

- 障がい者
＜相談支援事業所＞
障害のある方やその家族から相談を受け、様々な情報の提供や助言、及び福祉サービスを受け



- 高齢者
＜地域包括支援センター＞
高齢者からのあらゆる相談に応じるため、保健師や看護師、社会福祉士、主任ケアマネジャーなど多くの専門家が活躍



住まいの変化に合わせて提供する必要

- 法触者支援
＜地域生活支援センター＞
出所した高齢者や障害者に、住居の斡旋など、社会復帰を手助け



- 金銭管理・手続き支援
＜社会福祉協議会＞
日常生活自律支援事業：福祉サービス利用手続きや日常的な金銭管理の支援



- ひとり親支援
母子家庭等就業・自立支援業



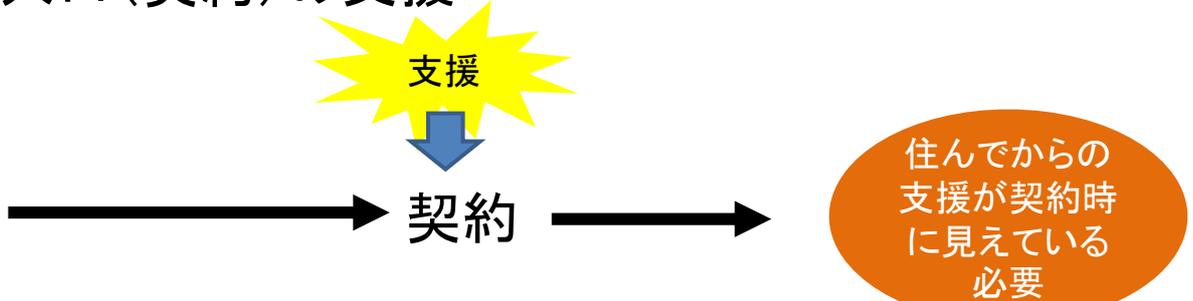
- DV被害者支援
母子生活支援施設



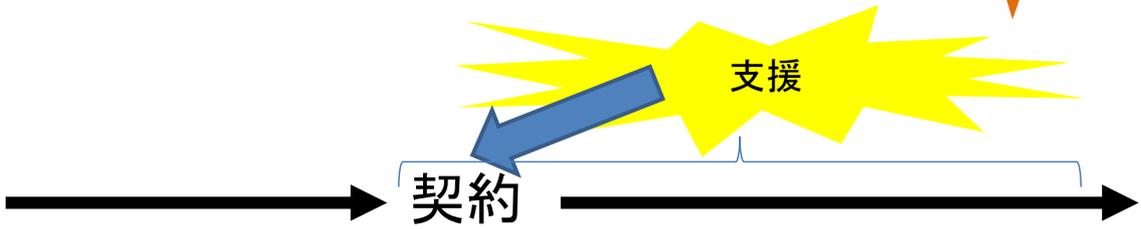
居住支援の事例

居住支援の2つのボトルネック 住むための支援、住み続けるための支援

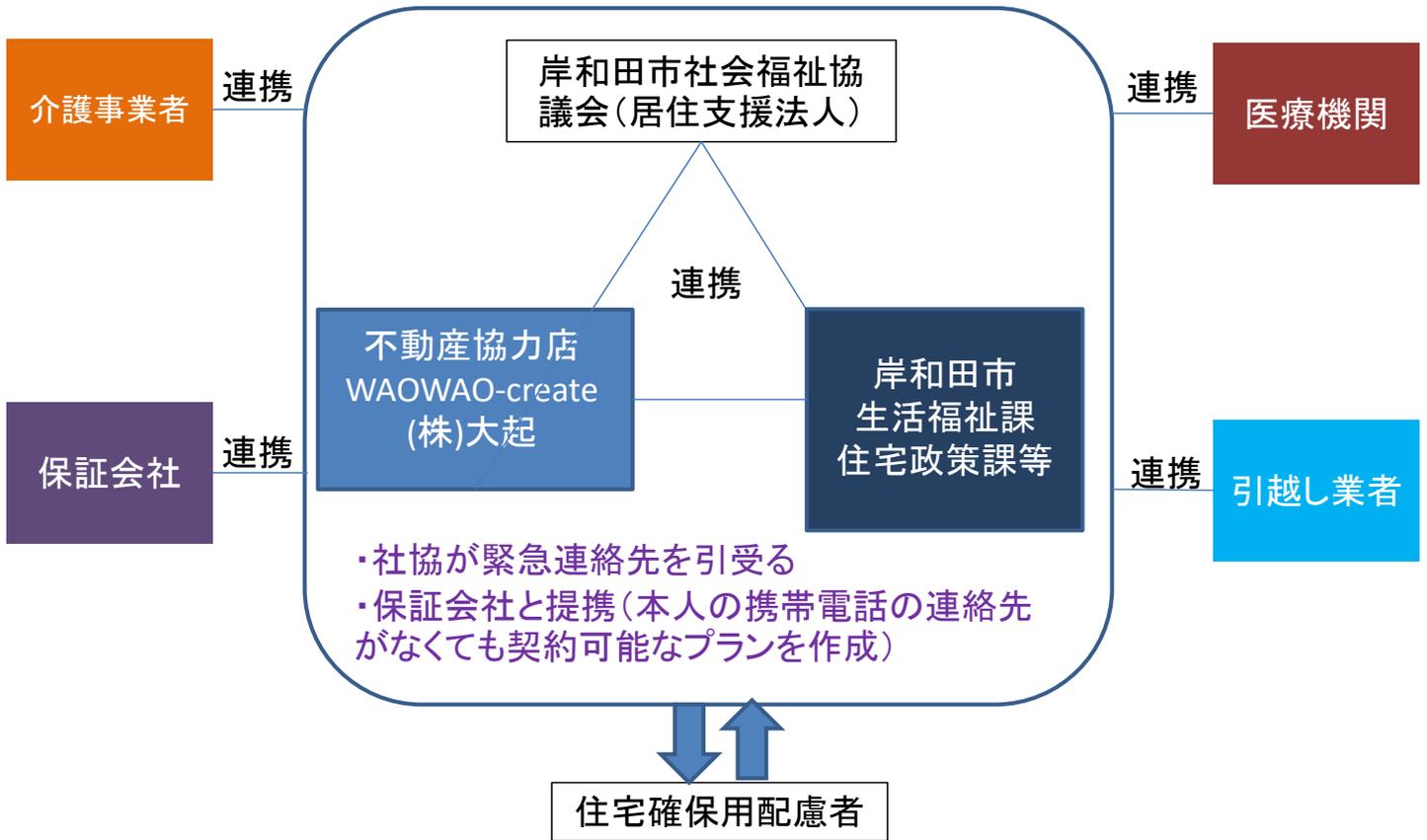
● 入口(契約)の支援



● 入居後の支援まで含めて入口(契約)支援

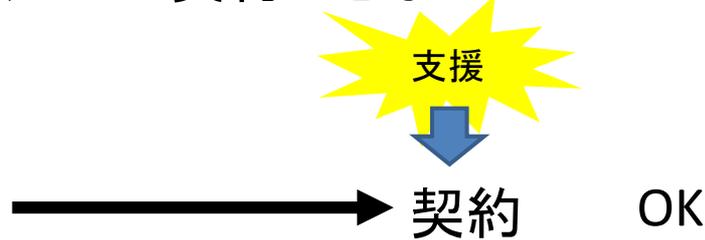


岸和田居住支援協議会



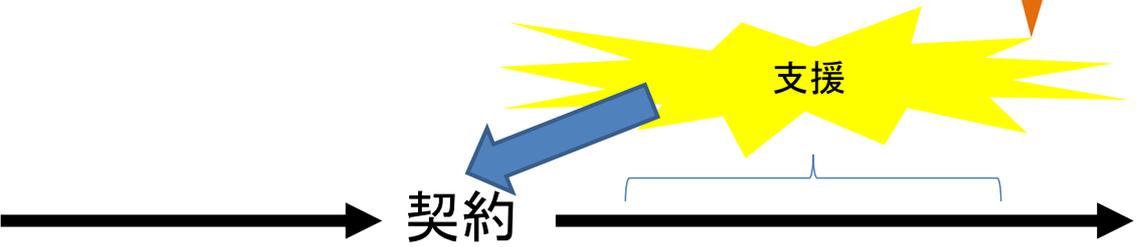
居住支援の2つのボトルネック 住むための支援、住み続けるための支援

● 入口で契約できない

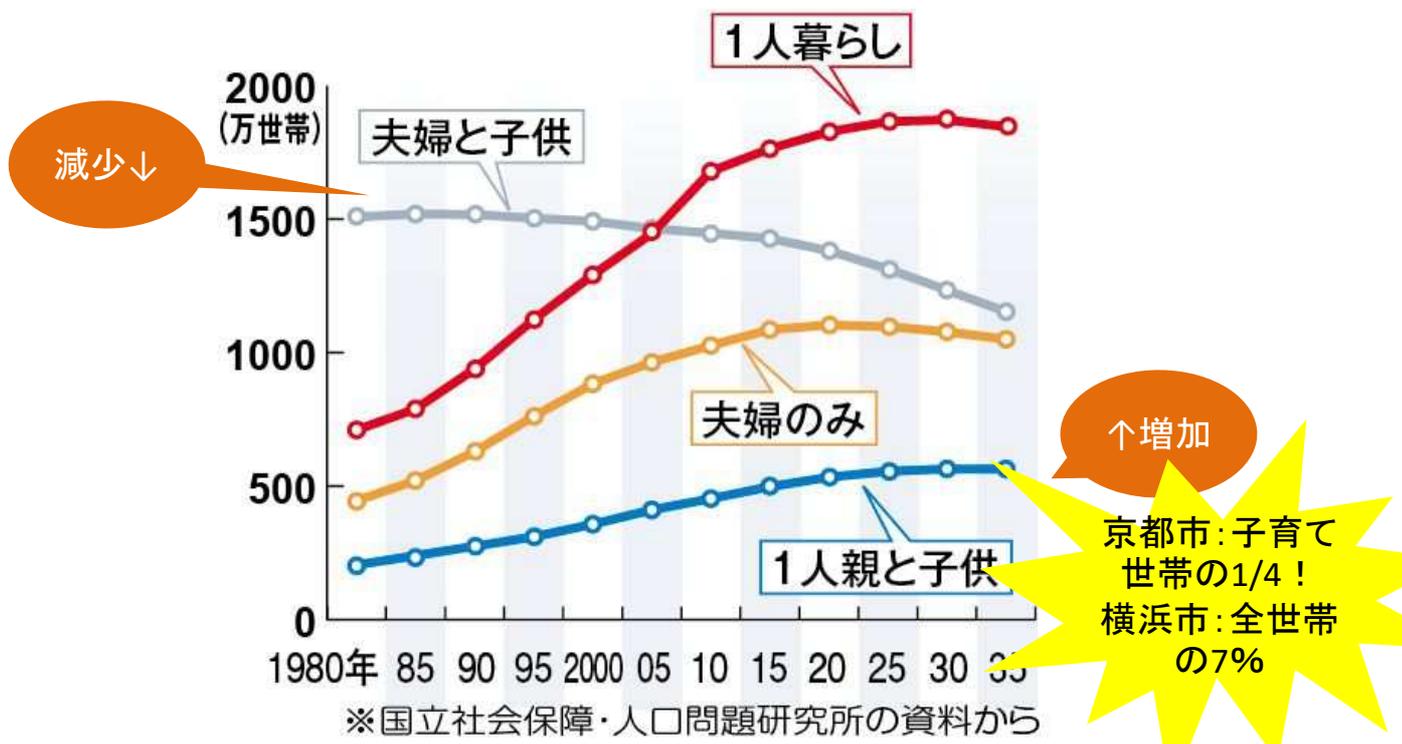


住んでからの支援が契約時に見えている必要

● 入居後の支援がないと契約できない



世帯構成の変化



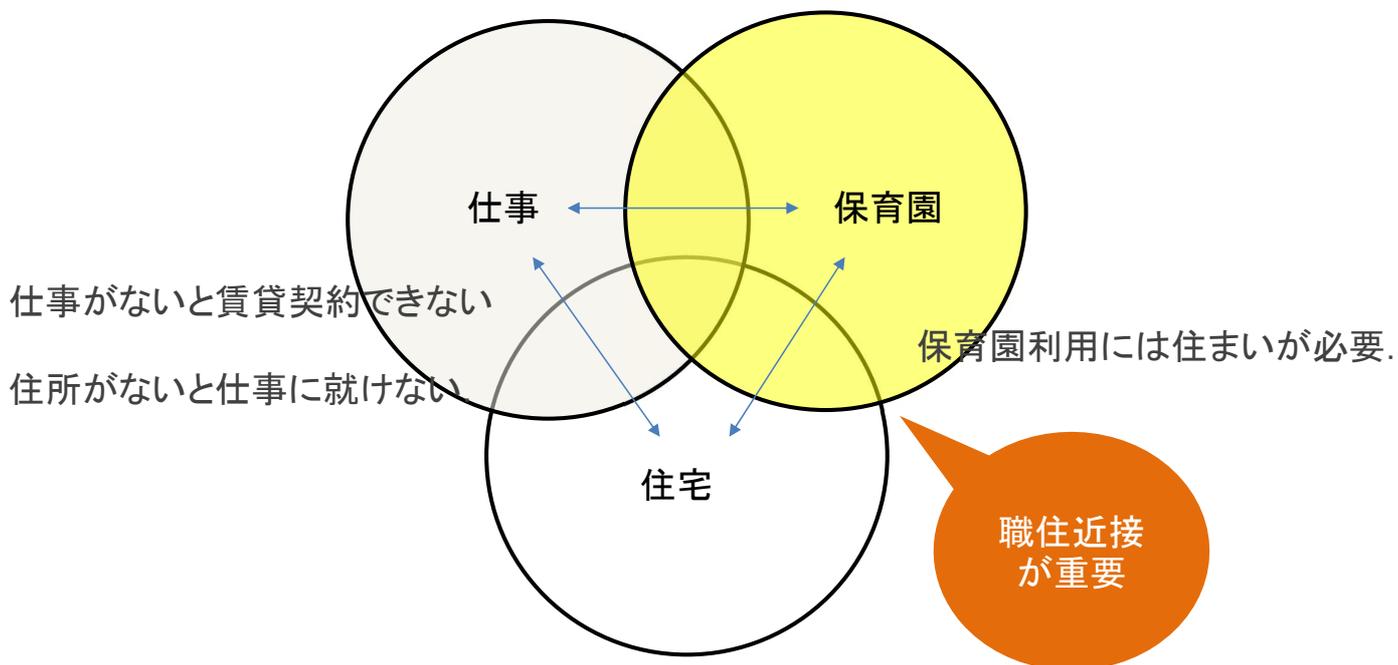
減少↓

↑増加
京都市:子育て世帯の1/4!
横浜市:全世帯の7%

つながりの少ない人が増えている

離婚するにも、住宅、仕事の同時解決が必要

仕事がないと保育園利用が困難。
保育園がないと、仕事に就けない



シングルペアレント向けシェアハウス
(株)弥平治による住まい・仕事・保育をワンストップで提供
MOM-HOUSE マムハウス(流山市)



1階: 就労のための洗濯代行のお店
認可保育園 併設



1階・認可保育園

シングルペアレント向けシェアハウス MOM-HOUSE マムハウス(流山市)



共用リビング

住戸の構成

シングルペアレント向けに
住まい・仕事・ケアをワンストップで提供
(株)リンクリンク
(名古屋市)

株式会社・居住支援法人



パークリンク桑名 (母子専用アパート)



カーサ・ソレイユ

ご自身の離婚・失業体験をもとに清掃会社を起業。
6畳1間のアパートから再出発。
その体験からシェアハウス等を設定。シングルマザーの再出発をトータルに支援

🏠 シングルマザー価格

🚶 名鉄名古屋本線本星崎駅 徒歩20分

昼間は南向きの窓から日光がたくさん入ってきて気持ちがいい！お部屋です。オーナー自作のパンチングボードを玄関とキッチンに設置！玄関には靴も設置したので、スペースが有効活用できます。また、広々としたキッチン

出典：リンクリンクホームページ <https://home.parklink.net/>

Megumi share house

めぐみハウス 東大竹



玄関・個室共にナンバーキーを採用しているので、鍵を無くす心配がありません。郵便受けもお部屋別になっています。ゴミ出しも便利な敷地内。
新生活スタートに嬉しい、共用部の**家具家電付**。食器類や調理器具も揃っています。ご希望によりお団子のレンタルもできますので、**手ぶら入居**も可能です。

部屋番号	お部屋+収納スペース	窓向き	賃料	共益費/大人1人	合計
101	7	1 西	39,000円	15,000円	54,000円
102	4.5	3 南 西	38,000円	15,000円	53,000円
201	8	1.5 北 西	42,000円	15,000円	57,000円
202	6.5	1 南A*ルコ- 西	39,500円	15,000円	54,500円
203	6	1 南A*ルコ- 西	38,000円	15,000円	53,000円
205	6	2 南A*ルコ- 西	39,000円	15,000円	54,000円
206	6.5	1 南A*ルコ- 東	39,500円	15,000円	54,500円
207	6.5	1.5 北 東	39,000円	15,000円	54,000円

☆お子さんと一緒に入居の場合は、家賃に加算があります。ご相談ください。

共益費に含むもの:水道代、電気代、ガス代、wifi使用料、共用部清掃、共同購入品(下記参照)季節、在宅加算

共同購入品:箱ティッシュ、共用タオル、ハンディーバー、クイックルシート、害虫用スプレー、雑巾、トイレペーパー、トイレ洗剤、トイレクイックルシート、消臭剤、サニタリー袋、キッチンペーパー、食器用洗剤、掃除用スポンジ、シンク用スポンジ、布巾、サララック、ゴミ袋、オープンペーパー、ハンドソープ、除菌アルコール、生ごみ処理袋、ゴミ袋各種、洗濯洗剤、洗濯機フィルター、洗面ボール掃除用スポンジ、お風呂用お風呂掃除用スポンジ など

15,000円の中に水道光熱費とこれだけの日用品が含まれます

小田急線伊勢原駅 徒歩2分

女性専用シェアハウス、多世帯型、シングルマザーの専用シェアハウス、事前内見時間あり

フードバンクと連携して食の支援も実施



共有設備:お風呂2ヶ所(脱衣所、シャワー、追い炊き機能)、階段下収納(お風呂用品収納)、トイレ2ヶ所、洗面所3ヶ所、

NPO法人・居住支援法人

シングルペアレント向け
シェアハウス
(株)めぐみ不動産
コンサルティング

株式会社めぐみ不動産コンサルティング

神奈川県知事(2)第29373号

TEL **0463-95-2667** FAX **0463-95-2668**

〒259-1133

取引形態/貸主

神奈川県伊勢原市東大竹945番地3

info@megumi-fc.jp

手数料割合

取引会社様へ AD100%

借主:100%

日本語が話せる外国籍の方OK

客付:100%

出典：(株)めぐみ不動産コンサルティング・ホームページ
<https://megumi-fc.jp/gallery/20181108-693/>

ホームレス



Homedoor(大阪市) ホームレスの居住支援 に多角的に取り組む

認定NPO法人・居住支援法人

上の階は
アドセンター
(個室の宿泊)

食堂(居場所)

事務所

雇用創出
シェアサイク
ル事業

- ・2020年で10周年を迎えるホームレス支援の認定NPO法人・居住支援法人
- ・民間企業と連携しながら、雇用創出
- ・届ける、選択肢を広げる、泊まれる、暮らしを支える、働くを支える、再出発に寄り添う

高齢者

↑増加



お亡くなりになるリスク、認知症になるリスクから家を貸してもらいにくい現実



宅建免許を取得したNPO法人

NPO法人・居住支援法人

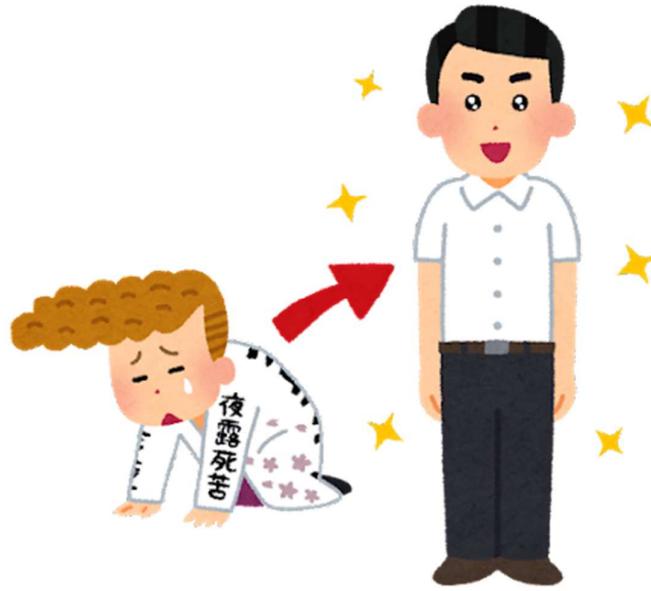
「亀吉」(藤沢市)

不動産の専門家とソーシャルワーカー
による相談支援



隣のレストランではデイサービス利用者が有償ボランティアとして活躍

こども・青少年・障がい者



岐阜ボランティア協会

(岐阜県羽島市)

旧雇用促進住宅を活用

- ・障害者の支援から出発
- ・児童養護を巣立った若者の支援
- ・少年院などを退院した若者の支援
- ・障がい者グループホーム

社会福祉法人・居住支援法人



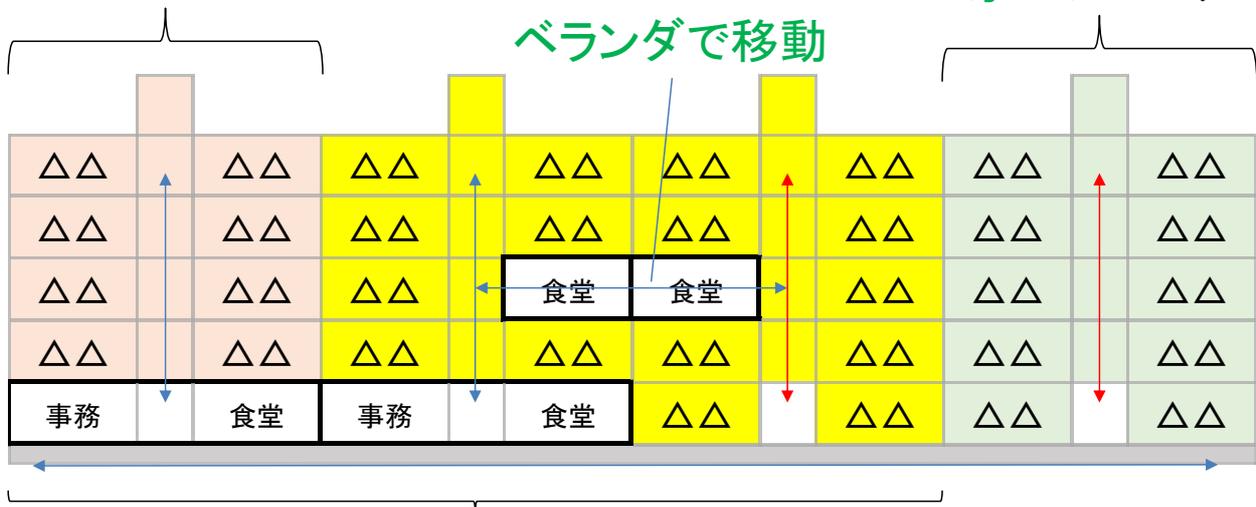
旧雇用促進住宅の活用(概念図)

自立援助ホーム
Ohanaの家

障がい者のGH利用

児童養護施設や里親家庭
から自立を応援

LaLaの家+シェルター利用



南側ベランダからアクセス
(北側階段は閉鎖)

北側階段室からアクセス
(一般住宅同様のアクセス)





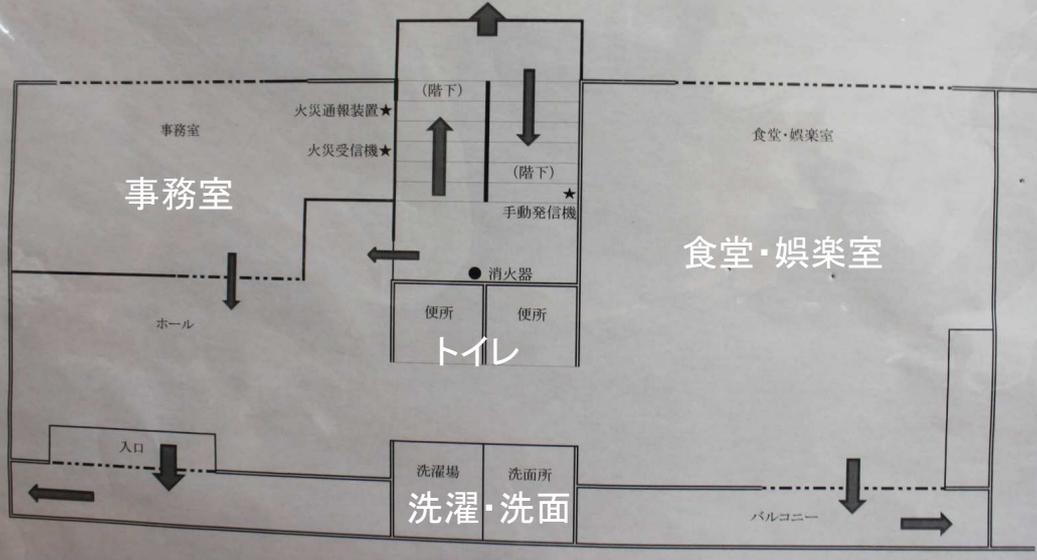
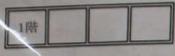
自立援助ホーム
Ohanaの家



行動を！！
ました～

ohanaの家防災計画

避難計画路



いの市町村か

に時間を要する方

が発表されたときな

発令されます)

避難場所へ

ohanaの家防災計画

か
歌って。踊
ス
11:30～
12:00～
ハ
13:30～





ひきこもり・社会的孤立



居場所, 役割,
仕事が重要

住宅つき就職支援プロジェクト

チャン巢 プロジェクト
(大阪府営清滝住宅)



NPO法人・居住支援法人:HELLOlife

MODEL
HOUSE

住宅つき就職支援
プロジェクト



就職氷河期世代の方・コロナ禍により失業された方の就職、住宅をNPO法人がサポート

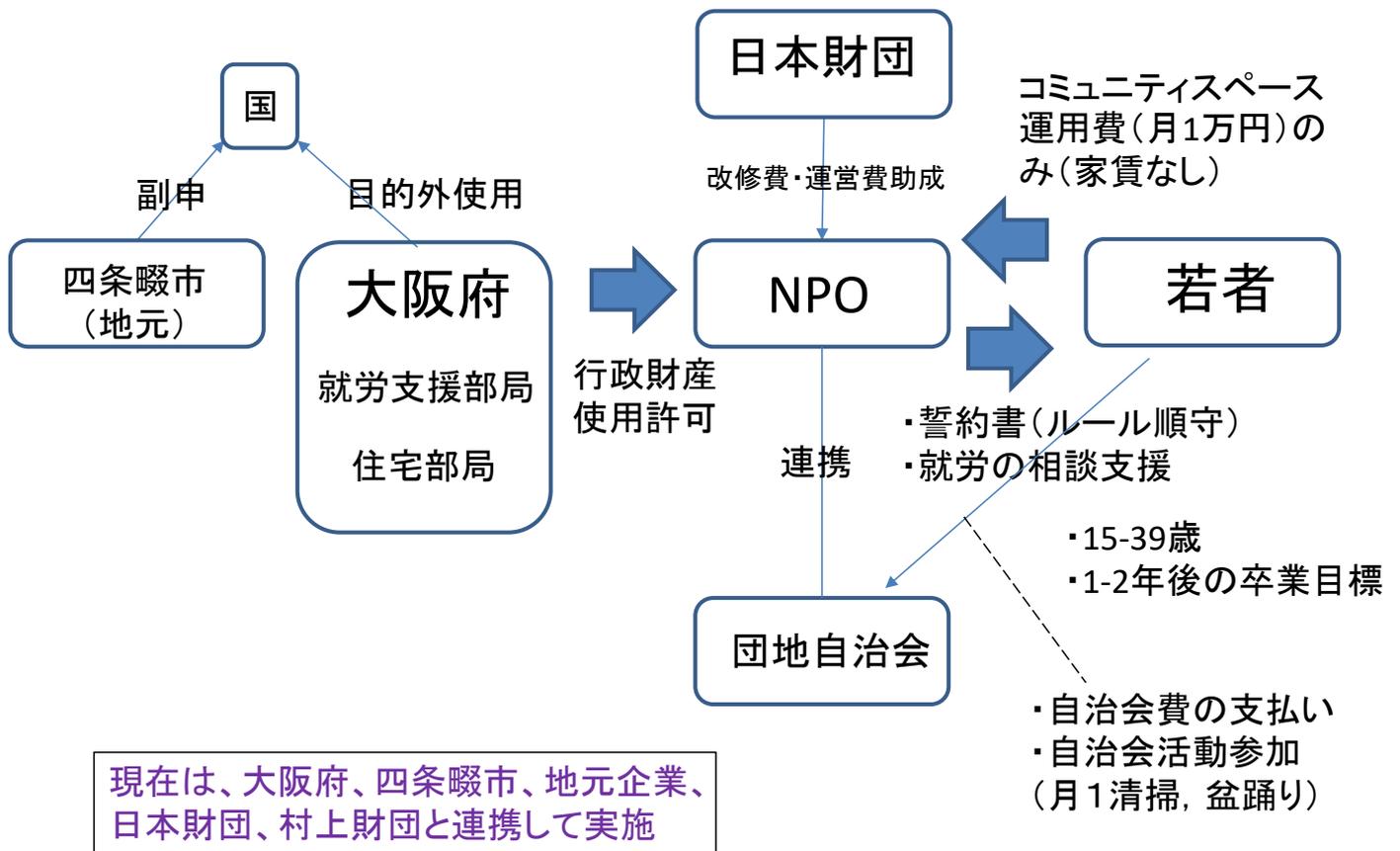
- 条件 ①就職氷河期世代の方: 35-49歳
②コロナ禍により失業された方: 15-39歳

20部屋+2部屋「コミュニティスペース」を提供、入居者がDIYに参加





2019年3月までの仕事つき就労支援プログラムのスキーム



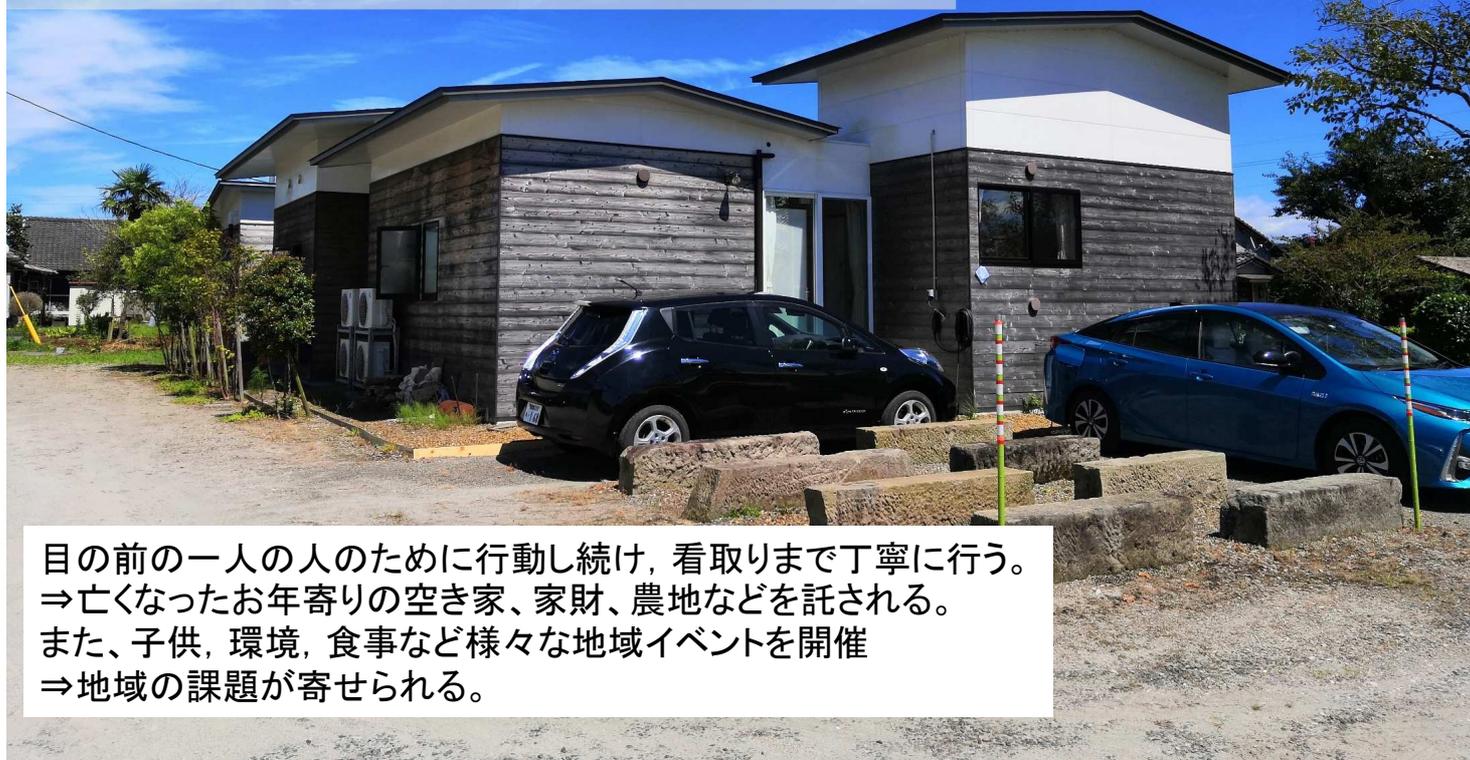
ごちゃまぜ(住民・高齢・障がい者・子供)



横断的な取り組みが効果を上げている事例

(株)いろは(鹿児島県南九州市)

高齢者介護から
寄託された空き家・農地の活用
こどもの支援・移住支援へ



目の前の一人の人のために行動し続け、看取りまで丁寧に行く。
⇒亡くなったお年寄りの空き家、家財、農地などを託される。
また、子供、環境、食事など様々な地域イベントを開催
⇒地域の課題が寄せられる。

不用品のリサイクルショップ？



地球学校：有機野菜を子どもと一緒に作る



空き家・空き農地の活用

- 預かっている古民家で若い世代のお試し移住
40代夫婦+小学生2人
- 耕作放棄地・空き家を活用した就労支援が実現
2名(30代1名・40代1名)
- 不登校生徒が役割を通して外出可能に
4名(女子3名・男子1名)

看取り⇒家財、家、畑の寄託⇒高齢化、残置物の処分、家・畑の活用
⇒移住⇒教育・仕事

* 今では行政も「いろは」に声掛け・相談するように

移住者に空家を紹介



海外に居住支援法人の
仕組みはあるのか？

英国



GDPは2兆4175億ドル(2011年)、世界第7位

6264万人(2011年)……日本の約半分

高齢化率(65歳以上人口)16%(2008年)……cf.日本23%(2008)

合計特殊出生率(2009年)1.94……cf.日本1.37

平均寿命 男性78.3歳、女性82.5歳……cf.日本 男性79.6歳、女性82.5歳

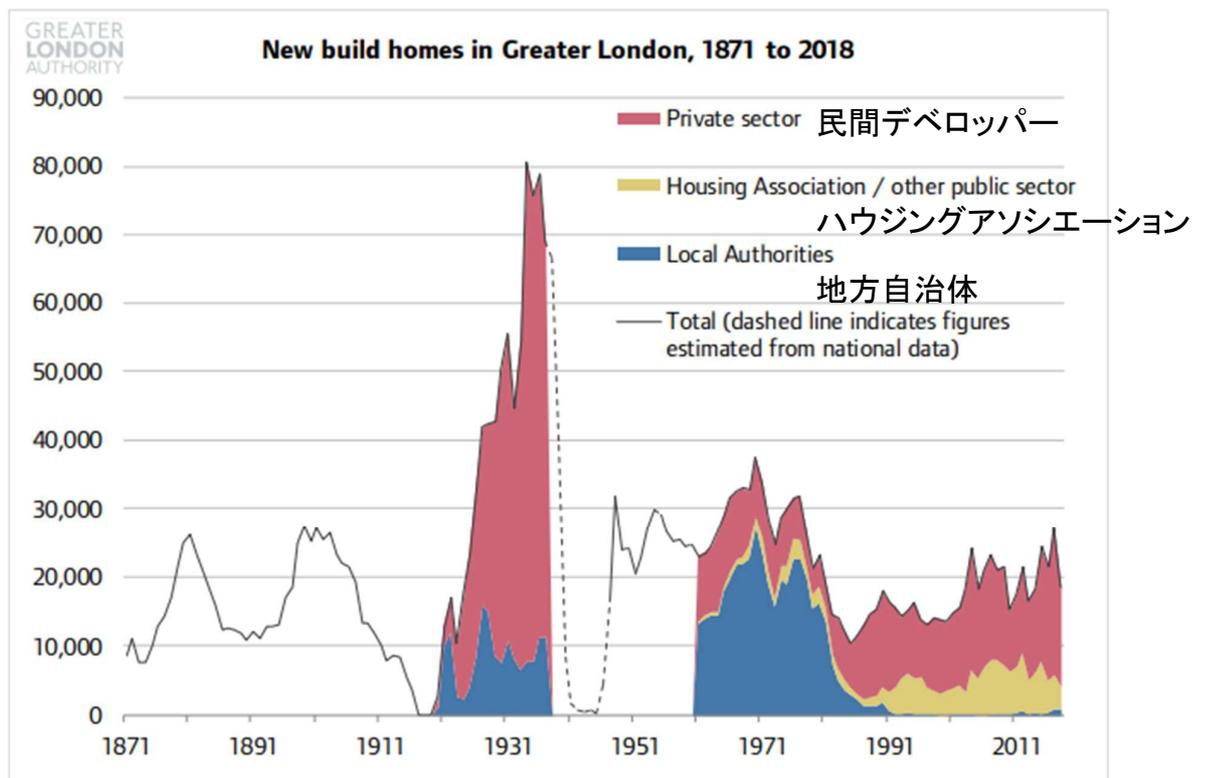
医師数(1000人あたり)2.7人……cf.日本 2.2人

看護師数(1000人あたり)9.7人……cf.日本 9.5人

急性期病床数(1000人あたり)2.7床……cf.日本 8.1床

MRI(100万人あたり)5.6台……cf.日本 43.1台

ロンドンの住宅供給





Vision, mission and values

Corporate / About us / Strategic Plan 2017-20 / Vision, mission and values

Share this page

Print this page

In this section

News

About us

Strategic Plan 2017-20

[Foreword from our CEO](#) | [About Hyde](#) | [Journey to success](#) | [Our corporate objectives](#)

Images speak louder than words, so please watch our short video, all about our exciting new [vision and mission](#), ready for the challenge of the next 50 years.



ロンドンの主要ハウジング・アソシエーションG15

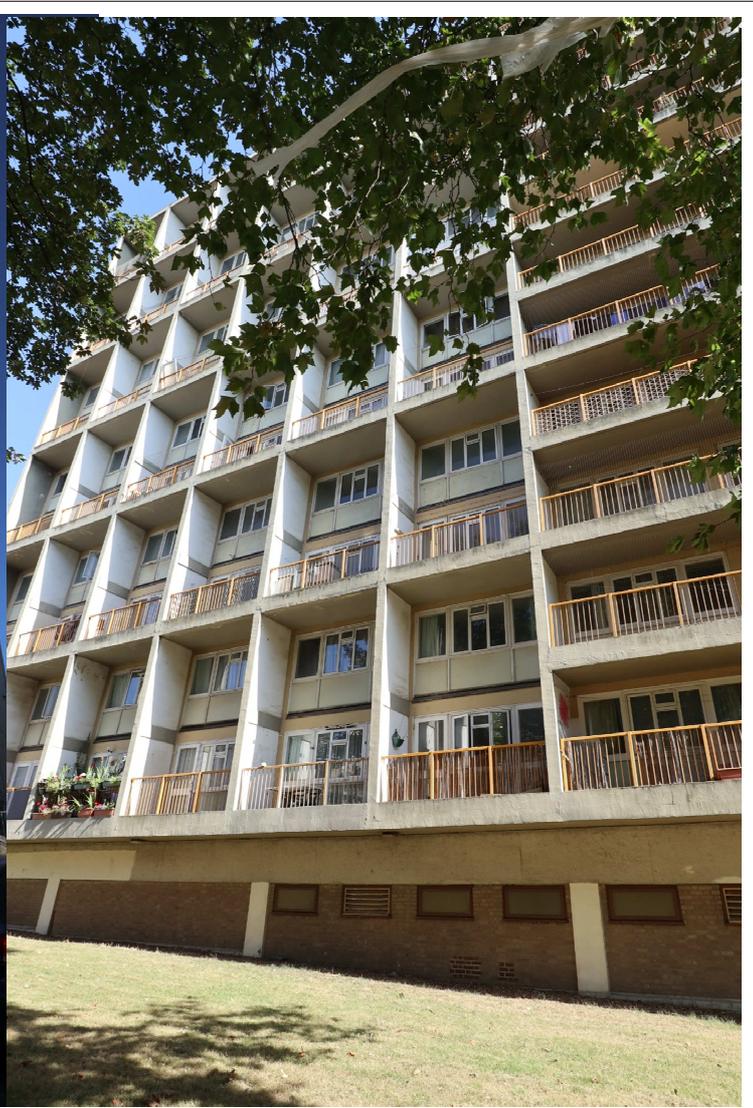
“G15” ロンドンにおける大規模HAによるグループの名称

- ・ロンドンの10人に1人がG15所属HAの住人
- ・ロンドンの新しい住宅の4分の1を建設し、600,000を超える家を所有または管理

記号	設立年度	組織名	管理戸数	居住者数
HA01	2016	Clarion Housing Group	125,000	360,000
HA02	1963	L&Q	95,000	250,000
HA03	2018	Metropolitan Thames Valley	57,000	-
HA04	2018	Notting Hill Trust	55,000	170,000
HA05	1862	Peabody Trust	55,000	111,000
HA06	1967	Hyde Group	50,000	100,000
HA07	2017	Optivo	44,000	90,000
HA08	2008	A2Dominion Group	37,248	65,000
HA09	1910	Southern Housing Group	27,000	72,000
HA10	2002	Catalyst Housing	21,000	40,000
HA11	1988	Network Homes	20,000	-
HA12	1966	One Housing Group	16,000	11,500

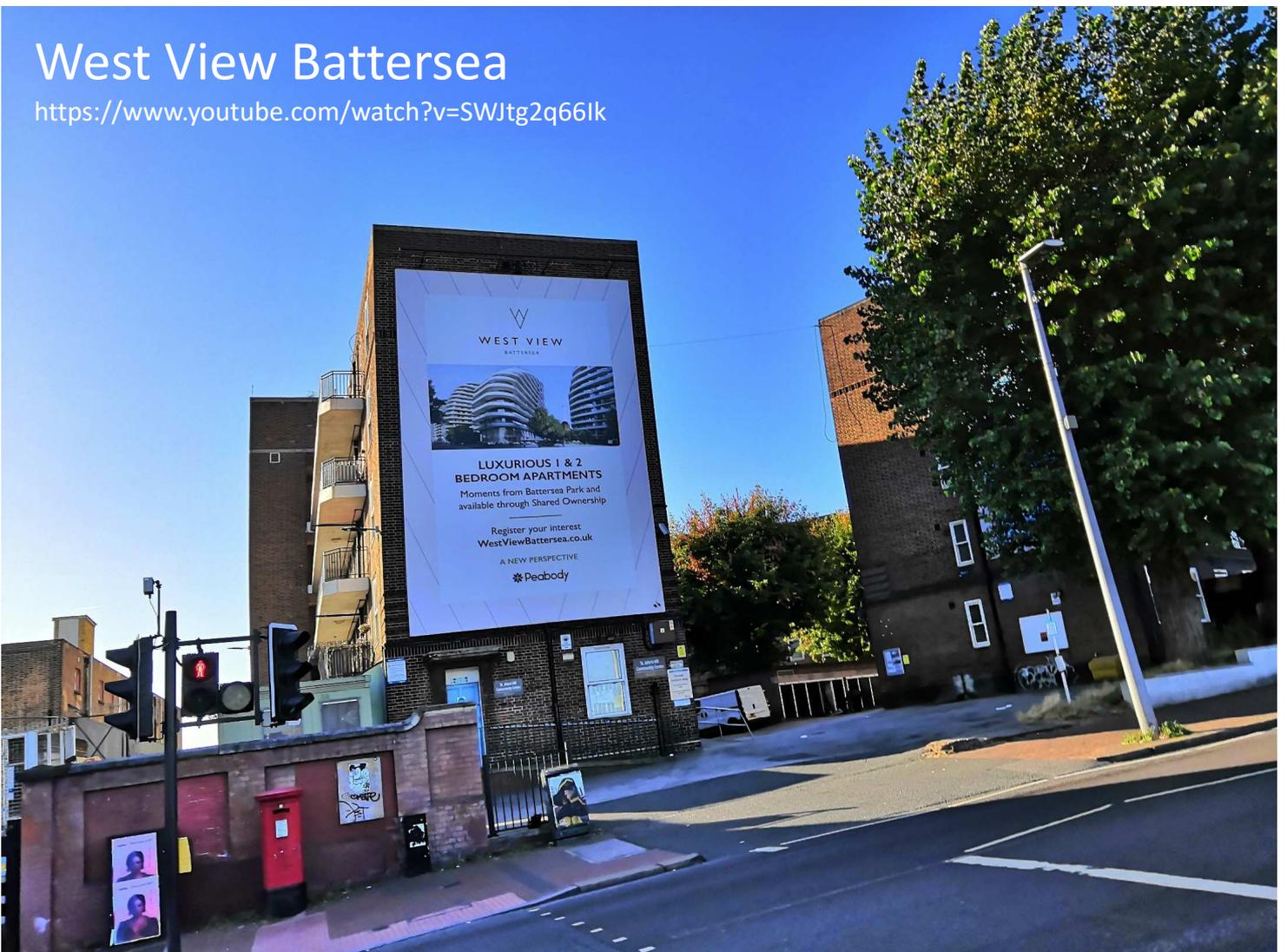
表引用：角田（2020）

古い公的住宅のストックも多数所有



West View Battersea

<https://www.youtube.com/watch?v=SWJtg2q66Ik>



268戸の多世代向けの住宅開発。高齢者施設、コミュニティセンター、商業スペース、新しい公共広場、遊び場などを設置

Pembury Community Centre



- Neighbourhood Office
- Employment & training support
- Health and wellbeing
- Older people's services
- Children and young people
- Café
- Venue hire

Tab. 3 G15 の居住支援活動実施状況 (2019 年 2 月時点)

分類	支援内容	HA01	HA02	HA03	HA04	HA05	HA06	HA07	HA08	HA09	HA10	HA11	HA12	
施設運営	高齢者住宅	シェルタードハウジング	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		エクストラケアホーム	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		ケアホーム	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	コミュニティセンター	コミュニティセンターの運営	○	○	○	○			○	○	○			
		高齢者向けコミュニティハブ	○		○				○				○	
	入居施設	ホームレスホテル			○					○			○	○
		キーワーカーの短期宿泊施設				○							○	○
学生寮の運営					○				○					
難民、移民向け一時宿泊施設				○										
訪問支援	在宅ケア		○		○	○	○			○				
	フローティングサポート	○	○	○	○	○			○	○			○	
地域貢献	慈善活動	ボランティア活動	○	○	○	○	○	○		○				
		ボランティアの養成	○	○		○	○							
		チャリティイベント	○			○			○					
	雇用支援	就労支援	○*	○*	○	○	○	○*	○*	○*	○*	○*	○	○
		起業支援							○	○				○
	教育	レクリエーション、習い事の提供	○	○	○	○	○			○	○	○		○
		短期集中型スクールの運営	○			○	○				○			
		デジタルトレーニング	○			○	○			○	○	○		
	健康	大学院教育		○										
		健康セミナーやイベントの企画							○					
若者	心理的ヘルプライン				○				○			○	○	
	青少年プロジェクト										○		○	
	コミュニティ大使	○										○		
	サマースクール										○			
	子どものためのコミュニティ					○								
若者恋愛支援					○									

表引用：角田 (2020)

フローティング・サポートとは？



Float: 漂う、浮かぶ

フローティングサポート(別名、住み続ける支援)

●概要

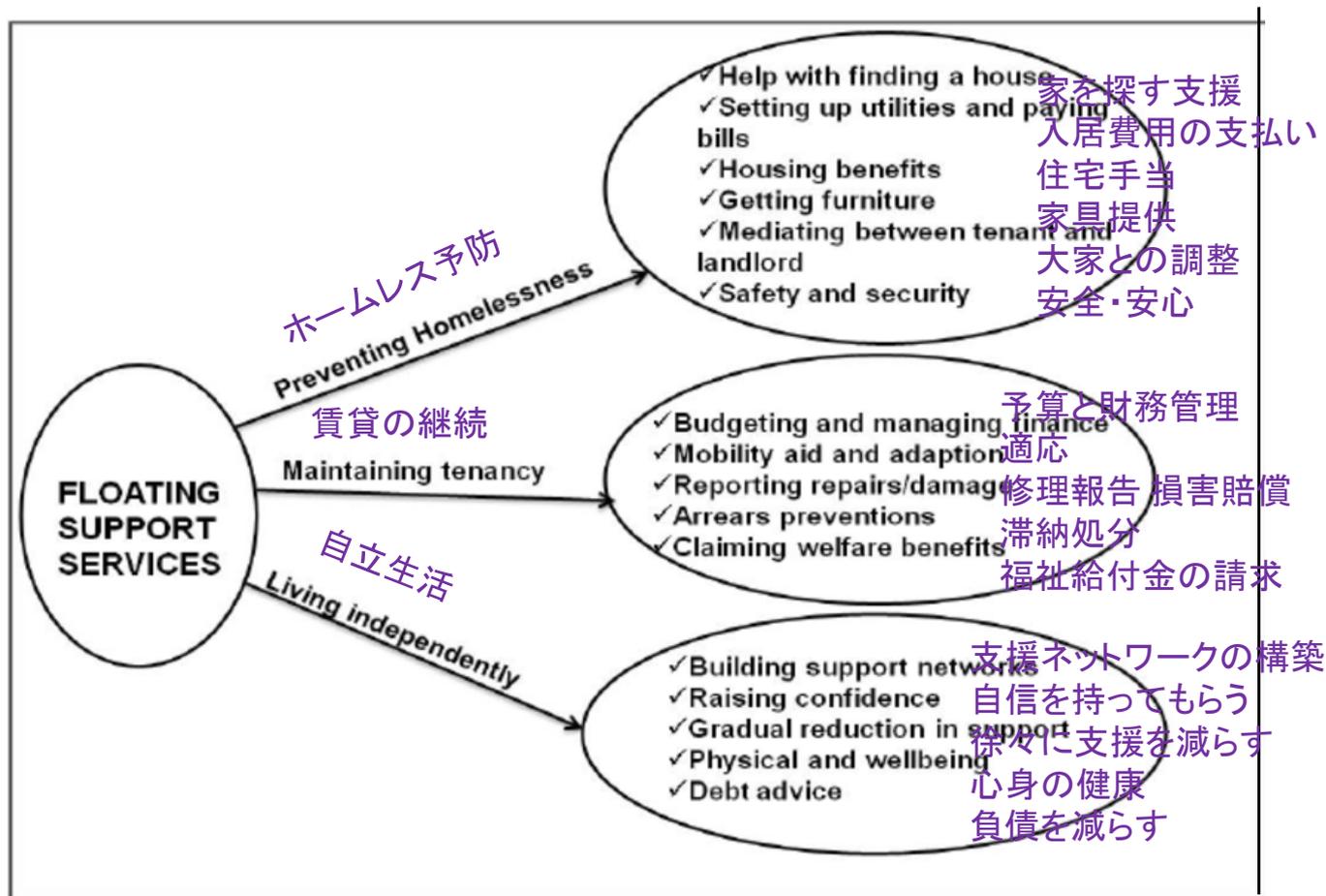
- ・入居形態を問わない
(自宅や福祉施設にいる人、新規を借りる人、家を失う危険のある人、ホームレス、病院⇒自宅)
- ・住宅確保用配慮者が住まいを維持し、自立生活を送るスキルを身に着け、生活をコントロールできるように支援

●自治体の施策に基づき、HAを含む支援団体が提供

●支援団体：一般的なものから専門性あるものまで

●料金：無料

英国フローティングサポートの概念図



フローティング・サポートの支援内容

- ・ 住み慣れた家に住み続けられるよう、立ち退きを防ぐ支援（隣人トラブルも含む）
- ・ 新しい環境に移動、定着できるように支援
- ・ 家計の管理（請求書の支払いや給付金の請求など）
- ・ 健康と福祉の向上：医療や介護サービス等を受けられるように支援
- ・ 自分の選択肢を理解し、決断できるように支援
- ・ 自立した生活を送るために必要な生活スキルを身につける支援（デジタル支援も含む）
- ・ 技能、資格を取得の支援へつなげる
- ・ 入院中の患者が戻るべき適切な住居を持っていない場合のサポート
- ・ 退院後も健康上のサポートを継続

※介護、清掃、買い物など家事支援は含まない。別途自治体のソーシャルサービスを利用

※アセスメントで利用決定

※上記に加えて、麻薬、触法者、自閉症などの専門組織もある。

※病院と連携して退院を支援することもある。

フローティング・サポートの内容

●支援場所

ケースワーカーが自宅を訪問したり、待ち合わせしてカフェや図書館で行うほか、必要に応じて同行もする（フロートの由来：自由に浮遊する）

●利用者

- ・ 当該自治体に居住しているか、家を所有している方
- ・ 住宅関連のサポートを必要としている
- ・ サポート付き住宅、施設、病院から自立生活に移行したい方
- ・ サポートを受ける意思、サービスに参加する意思がある方

●支援計画

- ・ サポートの責任者、サポートの提供方法、期間などが明記され、定期的に見直す

●支援期間

- ・ 1回限りの電話、メール、訪問、ドロップインのアドバイス
- ・ 4-6週間の短期サポート
- ・ 最長6か月のサポート
- ・ 途中でも利用者、支援者のいずれかが必要なくなったと判断したら終了

フローティング・サポートはどの都市にもあるのか？



上記報告書は133行政にアンケート
52位のケンブリッジが人口13万4000人(2007年)
⇒数万人の都市にある？(推測)

St Mungo's: HOME FOR GOOD, The role of floating support services in ending rough sleeping:
<https://mungos.org/app/uploads/2018/12/Home-for-Good-floating-support-report.pdf>

フローティング・サポートの業務内容(求人票から)

●業務内容

- ・利用者の個別の住宅支援ニーズを把握する。
- ・利用者等と相談・合意の上、適切な支援計画を立案・実施する。
- ・入居者が可能な限り地域社会で自立して生活できるよう、生活管理能力の向上と、予算管理、料理、買い物、住居の維持などを支援する。
- ・利用者のニーズや志向の変化に応じて、リスクアセスメントを実施し、必要に応じてリスクマネジメントを行う。
- ・利用者の住居における安心・安全を維持するための支援を行う。
- ・利用者が隣人、他のサービス利用者、友人、家族との良好な関係を維持し、紛争を回避することを奨励し、可能にし、支援する。
- ・利用者が自分の健康と幸福を管理できるような支援を提供する。例えば、支援パッケージの一部として一般的な健康についてのアドバイスや情報へのアクセス支援、他のサービスへの道案内を行う。
- ・利用者が自己擁護能力を身につけるのを支援する。
- ・利用者に、福祉権利、アドボカシーサービス、その他のコミュニティグループなど、専門的な機関を紹介する。
- ・組織のガイドラインに沿って行動し、利用者を虐待から守る。
- ・利用者が地域のサービスを利用できるようにし、より良い生活の質を促進するために地域社会への積極的な参加を促す。例:住宅、医療・社会サービスのケア専門家、福祉・給付、擁護機関、他の大家など、適切な場所を紹介する。

フローティング・サポートの業務内容(求人票から)

●スタッフ・チームワーク

- ・チーム内で仕事をし、同僚をサポートし、チームミーティングに参加し、適切かつ内密に情報を記録・共有する。
- ・ハウジング&サポート、福祉給付金、その他の関連法規に関連する問題を常に把握する。
- ・役職に必要なすべてのコアトレーニング、および必要に応じてその他のトレーニングや専門能力開発活動に参加する。
- ・住宅支援担当者の役割の範囲内で、その他委ねられた業務や責任を果たす
- ・理念、方針、手順を常に認識し、それに従って業務を遂行する。

●コミュニケーションと情報

- ・ユーザーフレンドリーな言語で報告書や情報を作成し、プロフェッショナルで納得のいく形でプレゼンテーションを行うことができる。
- ・支援する人のサービスモニタリング要件を満たすためのデータ/情報の記録・収集の支援
- ・組織のミッション、価値観、戦略にふさわしい公共的、専門的な記録を作成し、それらをすべての業務活動に確実に組み込む
- ・機密情報の機密保持を含む効果的なコミュニケーション・システムを導入・維持する。

出典:Autism Initiativesの求人

フローティング・サポートの業務内容(求人票から)

●その他 注意事項

- ・利用者の送迎が必要なため車を利用できること、ビジネス保険に加入していること。
- ・この職務の性質上、多くの場合、仕事と責任は予測不可能で変化に富んでいます。そのため、ジョブ・ディスクリプションに記載されていない業務にも柔軟な対応が期待されます。
- ・夜間や週末に勤務することがあり、高い柔軟性が求められます。
- ・これらの追加任務は、通常、不測の事態や業務の変更をカバーするためのものであり、通常、通常業務の種類に含まれるものである。
- ・また、サービスや利用者のニーズの変化、会社の発展、法律や規制の要件に照らして、または役職者と協議の上、職務内容を見直すことがあります。
- ・この仕事内容は確定的なものではなく、異なる場合があります。

出典:Autism Initiativesの求人

フローティング・サポートが効果的な方

●効果的な対象

フローティングサポートは、宿泊施設ベースのサポート費用よりもはるかに安く、以下のグループに費用対効果が高い。

- サポートが必要なホームレス家庭
- 犯罪者または犯罪を犯す恐れのある人
- 精神衛生上の問題/認知症を持つ高齢者
- 身体・感覚に障がいのある方
- アルコール問題のある人
- 薬物問題を抱える人
- 学習障害のある方
- メンタルヘルスの問題を抱える人
- サポートが必要なシングルホームレス
- 10代の親
- 放浪者
- 家庭内暴力の危険にさらされている女性
- 危険にさらされる若者たち

出典: 北アイルランド住宅局:「フローティング・サポートの有効性最終報告書」2012.12

ケースワーカー: サンドラさんの一日

9:30AM  私の一日は午前9時30分に病院に行くことから始まりました。私の利用者の一人であるマリーが一人で悩んでいるので、医師の診察を受けるようにサポートしていました。私は、彼女の話に耳を傾け、適切な治療を受け、適切なサポートを受けられるようにしたかったのです。私たちの利用者の多くは無視されることがあるので、私は彼女に代わって主張し、医師に彼女を泌尿器科医に紹介するよう働きかけました。昼過ぎまで彼女のそばにいて、それからオフィスに戻った。

12PM  軽く昼食をとり、午前中のメモを書き上げた。

1PM 

その後、ユニバーサル・クレジットの申請を一人で行うのに苦労していた利用者のために、ユニバーサル・クレジットの申請を始めなければなりません。彼は薬物使用の問題を抱えていましたが、ごく最近まで仕事をしていました。

不幸にも彼は再発し、コカインやヘロインを大量に摂取したため、家賃を1,000ポンド滞納し、裁判所から命令を受けてしまいました。彼はパソコンはもちろん、メールアドレスも持っていないので、すべて一から設定しなければなりません。この作業には最低でも1時間はかかります。

ケースワーカー：サンドラさんの一日

3PM



その後、私は立ち退きを裁判所に呼び出されているケースに取り組みました。彼はイタリア出身で、在留資格の問題で住宅手当がもらえなくなり、今は家賃を滞納しています。私は彼と一緒に裁判所に行き、陳述書を提出します。

5PM

電気



オフィスでは、双子を妊娠している利用者を見かけました。彼女は電気が切られて、メーターを再開するために10ポンド必要でした。私は、彼女が安心して眠れるように、これを確実にカバーできるように協力しました。

最後に利用者が助成金を利用できるように紹介しました。また、一日中電話をくれた利用者に電話をかけ、翌日のアポイントメントを確認しました。

これは私にとってごく普通の日ですが、状況は常に変化します。私が担当している28人の利用者は、さまざまなニーズを持っています。新しい住居に落ち着くためのサポートや、薬物・アルコールサービスのサポートチームに参加するためのサポートなど、さまざまな種類のサポートが必要です。

私が利用者の家を訪問することもあれば、オフィスに来てもらうこともあります。また、月曜と金曜にはドロップインを設けており、必要に応じてメールや電話を使ってサポートを受けることができます。

St Mungo's: HOME FOR GOOD, The role of floating support services in ending rough sleeping: <https://mungos.org/app/uploads/2018/12/Home-for-Good-floating-support-report.pdf>

ケースワーカー：サンドラさんの一日

私の時間の約70%は、給付金のサポートに費やされています。私の利用者の半分はユニバーサル・クレジットを利用しています。

私はこの役割において、かなりの独立性を持っています。仕事を始めたばかりの頃に最も重要なことは、お客様との信頼関係を築くことです。大変ですが、やりがいのある仕事です。

以前、ある利用者の面接への参加をサポートしましたが、彼は今、弁護士事務所で働いています。彼は自尊心が低く、励ましが必要だったのです。このような仕事は、非常にやりがいのあるものです。

ユニバーサルクレジット:

2013年に英国で導入された低所得層向けの給付制度。複雑になり過ぎた社会保障制度の簡素化、合理化を通じて、福祉手当の支給ミスや不正受給の是正、長期的には財政負担の軽減



St Mungo's: HOME FOR GOOD, The role of floating support services in ending rough sleeping: <https://mungos.org/app/uploads/2018/12/Home-for-Good-floating-support-report.pdf>

Marieは数10年前に路上生活から脱却しました。家庭内暴力や薬物使用の経験があり、*"道を踏み外してしまい、最後は薬漬けになってしまった"*という。

彼女はハーフウェイハウスに短期間滞在した後、**北ロンドンの住宅協会の物件に移り、そこでフローティングサポート**を受けるようになりました。

現在のケースワーカーであるサンドラがMarieをサポートするようになってから約1年半が経ちました。彼女は、ペットの犬と猫と一緒に暮らしているMarieの家を訪れます。*"彼女は必要なときにいつでも来てくれるので、彼女がいなければ私は途方に暮れてしまいます。"*

Marieさんも、体調が許せばオフィスを訪れます。*"サンドラのオフィスは私の家の目の前にあります。手紙が来ても、そのコピーを取っておいてくれるので、いつも安心です。また、私は今、健康上の問題を抱えているので、お医者さんや病院にも一緒に行ってくれています。"*

Marieは、サンドラが自分の人生に大きな変化をもたらしたと強く感じています。

"彼女のおかげで生活が楽になりました。何も心配しなくていいので、安心して眠れます...私は気性が荒いんです。私は気性が荒いので、サポートがなければ刑務所に入っていたと思います。私がこれまでにした最高のことは、麻薬を断つことでした。私は今まで薬物は30年断ち、アルコールも26年も断ちましたが、たとえ再発しても助けてもらえると思っています。私はケースワーカーを友人のように思っています。話し相手がいるというのは素晴らしいことです。彼女は私が心を許せる人です。彼女がいなければ、私はおかしくなってしまうでしょう"

自分の経験を振り返って、*"私はすべてを失いました。2人の息子と素敵な家を失い、最後は路上生活になってしまいました。何年も前に死んでいるべきだったのです。ここにいるべきではありませんでした。それがアイルランド人の精神性であり、雄牛のように強いのです"*

彼女自身の決意とサンドラのサポートのおかげで、彼女ははるかに良い場所において、*"今、私は幸せです"*と語っています。

St Mungo's: HOME FOR GOOD, The role of floating support services in ending rough sleeping:
<https://mungos.org/app/uploads/2018/12/Home-for-Good-floating-support-report.pdf>

フローティングサポートの費用対効果

- ・ホームレスに貸したくない：民間家主の80%
- ・ホームレスの家賃滞納を懸念：民間家主の83%
- ・ホームレスの入居管理やサポートを懸念：民間家主の75%

●400人のホームレスのサポート付き住宅から賃貸への入居の追跡調査

フローティングサポートの利用者：非利用者

家賃滞納 32%:45%

家賃滞納による訴訟 15%:22%

●Clearing House提供のフローティングサポート利用者 25年間で92%が路上に戻らずにすんだ。

●サービス利用者の88%が「非常に」「まあまあ」満足

●PwC調査 2017-2041年で中～低度のホームレスに預金保障、金銭サポートとともにフローティングサポートを提供 ⇒ 9800万£かかるが、3億2100万£の利益

St Mungo's: HOME FOR GOOD, The role of floating support services in ending rough sleeping:
<https://mungos.org/app/uploads/2018/12/Home-for-Good-floating-support-report.pdf>

まとめ

<英国のフローティングサポート>

- ・住まいの確保だけでなく、住み続けられるように
- ・生活のスキル獲得まで含む包括的支援＝普遍的支援
- ・多彩な支援の方法：メール・電話・訪問・ドロップイン・同行
- ・期間：短期から半年
- ・公的な資金で実施/専門サービスとして確立
- ・専門の民間団体が実施
- ・一方、死亡時の残置物の整理・成年後見、空き家活用などは記載がない（高齢化が進む日本が進んでいる）



さて、フローティングサポートの財源は？

自治体財源の活用（ただし、削減傾向）

ハウジング・アソシエーションは自前で負担

Financial statements 2018

L&Q

財務諸表を用いて各HAの部門別の収支を把握する

対象: 各HAの2018年3月31日締め年間財務諸表
Financial Statements 2018

活動による剰余金 Operation Surplus
→HAの部門ごとの収益関係を把握

連結キャッシュ・フロー計算書
Consolidated statement of cash flows
→活動による剰余金の使い方を把握

ハウジングアソシエーションの部門別収益

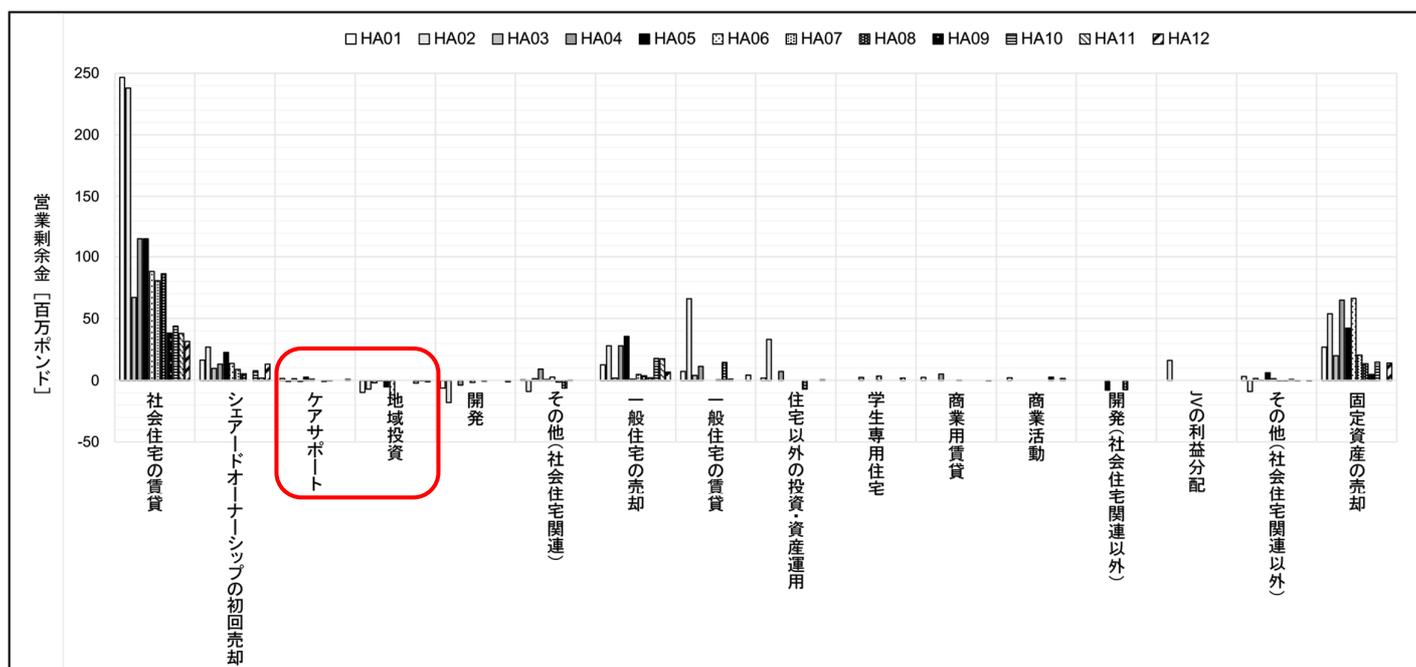


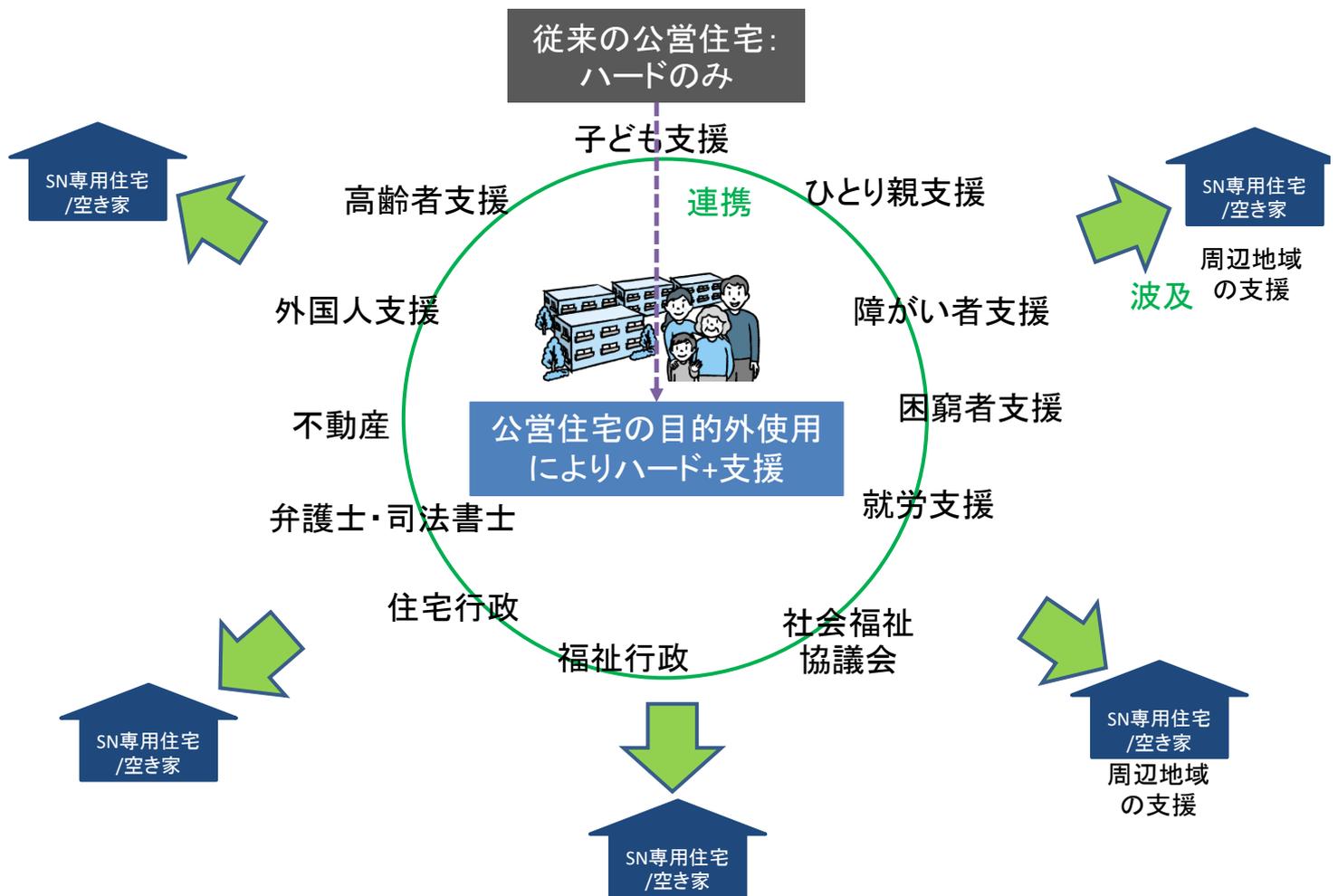
Fig. 3 営業剰余金 Operating Surplus の内訳

わが国の居住支援の展望

今後の課題

- 1) ホームページで行政・社協の支援メニューが分かりにくい
- 2) 行政内の縦割りの解消
- 3) 居住支援法人の運営資金の創出

公営住宅の目的外使用による居住支援法人の育成と連携



○参考文献

- ・(株)リンクリンクホームページ: <https://parklink.net/>
- ・(株)めぐみ不動産コンサルティングホームページ: <https://megumi-fc.jp/>
- ・NPO法人HELLOlifeホームページ: <https://co.hellolife.jp/>, 2022.2参照
- ・認定NPO法人Homedoor: 『Sesame』Annual Report2020(2020年度年次報告書),2021.4
- ・岐阜ボランティア協会ホームページ: <https://volavola.org/>, 2022.2参照
- ・St Mungo's: HOME FOR GOOD, The role of floating support services in ending rough sleeping: <https://mungos.org/app/uploads/2018/12/Home-for-Good-floating-support-report.pdf>, 2022.2参照
- ・Department for Social Development: SUPPORTING PEOPLE REVIEW Final Report, Nov., 2015, <https://niopa.qub.ac.uk/bitstream/NIOPA/2194/1/review-of-supporting-people-report.pdf>, 2022.2参照
- ・Autism Initiatives Group of Companies: JD-Floating-Support-Worker-Derry-Apr-19: <https://autisminitiatives.org/files/documents/JD-Floating-Support-Worker-Derry-Apr-19.pdf>, 2022.2参照
- ・L&Q: FinalStatements2018, <https://www.lqgroup.org.uk/investors/financial-performance>, 2019.10参照
- ・角田悠衣: 財務分析に基づくハウジングアソシエーションによる社会住宅の供給と居住支援の実態 —ロンドンのG15を対象として—, 京都大学大学院工学研究科建築学専攻修士論文、2020.2